

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	5
所管センター	中国
分野	日本式経営
研修コース名（日）	日本社会におけるビジネススキルの習得及び日系アイデンティティの涵養
受入人数	1
受入時期	上半期
来日日	2025年7月13日（日）
帰国日	2025年10月（約3か月）離日日は技術研修終了翌々日を予定
提案団体（日）	島根県
提案団体 ウェブサイトアドレス	http://www.pref.shimane.lg.jp
研修員必要資格	島根県にゆかりのある日系団体に所属している者、または、今後所属する意思がある者
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験3年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N4
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	島根県内の企業で住宅や商業施設などの建築物における工法を実習を通して習得する。また、日本の建設管理及び組織体制について学ぶほか、文化体験等により、日本の風土、風習、文化等深いレベルでの日系アイデンティティの涵養を目指す。
期待される成果 （習得する技術）	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修員が、日本企業の建設における工法・技術を理解する ② 研修員が、自国で応用可能な施工管理を習得する ③ 研修員が、日本の組織運営方法等を学び、帰国後実践することができる ④ 研修員が、帰国後の具体的な活動計画を作成する ⑤ 研修員が、日本の伝統文化等に関する知識を習得する
研修計画 （内容）	<ul style="list-style-type: none"> 1. 企業における専門研修 <ul style="list-style-type: none"> ① 土木建設、住宅建設の工法に関する実習 ② 施工管理に関する視察・実習等 ③ 組織運営、マーケティング等に関する実習 2. 日本文化等に関する視察・実習等 3. 関係者への研修結果の報告
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	日本企業での専門実習を取り入れる本研修において、建設、科学技術の近代化を目指す中南米の研修員が専門的・技術的スキル等を習得し、帰国後、母国の建設技術の向上に貢献する人材育成を図る。また広くスキルが認知されることで、日系コミュニティの活性化及び母国の土木業界における日系人の社会的評価の向上が期待できる。また日本人の働き方や仕事の進め方を体感し、日本企業のマネジメントスキルを習得することで、母国での経済活動の活性化に貢献し、地域の発展に大きく寄与することができる。他、自身のルーツとなる土地における文化体験等が、より深い日系アイデンティティの涵養に繋がる。

応募希望者への特記事項

研修効果に鑑み、島根県人会等、島根県にルーツを有する者が望ましい